

7つの施策の基礎となる
「創造と交流の基盤」を

「やおうえるかむコモンズ」と命名



なぜコモンズが必要なの？

個人のアーティストや個々の活動拠点だけでは、活動の幅や情報の発信にも限界があり、市全体で盛り上げていくには何かが必要では？



そうだ！

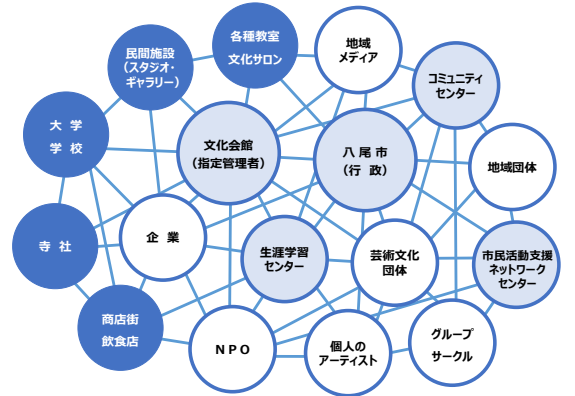
芸術文化により人・場所・活動がつながっていく芸術文化活動の有機的なネットワーク「やおうえるかむコモンズ」を形成すれば・・・



一緒にやろう♪

形成主体が互いに協力し合い、八尾の芸術文化を活性化させる取り組みが進むことが期待されます。

やおうえるかむコモンズのイメージ



形成主体同士が
互いにつながって
いるんだね

● : 活動場所
○ : 活動団体・活動者
◎ : 行政・公共施設

やおうえるかむコモンズ 推進会議

やおうえるかむコモンズ実現に向けて、形成主体で構成する「やおうえるかむコモンズ推進会議」を立ち上げます。推進会議では、形成主体同士の交流の場づくりや、コーディネーター養成研修会などを開催し、リーディングプロジェクトをはじめとする形成主体同士の共催イベントや、芸術文化と、産業分野や観光分野との連携によるイベントなどを創出します。



やおうえるかむコモンズ リーディングプロジェクト

- STEP 1 「やおうえるかむコモンズ」ポータルサイトの構築・運営
- STEP 2 高校の合同文化祭の開催
- STEP 3 (仮称) やお芸術文化フェスティバルの開催

をめざします。

リーディングプロジェクトとは事業全体を進める上で核となり、先導的な役割を果たすプロジェクトです。

八尾市芸術文化
基本条例



八尾市芸術文化
推進基本計画



八尾市芸術文化推進基本計画（概要版）

発行年 令和4年6月

発行 八尾市 魅力創造部 文化・スポーツ振興課

〒581-0006 大阪府八尾市清水町1丁目1番6号

TEL 072-924-3909 / FAX 072-924-3717

刊行物番号 R4-45

八尾市芸術文化 推進基本計画

概要版



計画概要について

・国の動向

国では、文化芸術の固有の意義と価値を尊重しつつ、社会的・経済的価値も含めた多様な価値を、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策と有機的に連携させるという考え方のもと、平成29年に「文化芸術基本法」を改正し、翌平成30年には改正法に基づき「文化芸術推進基本計画（第1期）」が策定され、国の方針として示されました。

・八尾市の方向性

八尾市では平成23年に前計画である「第2次八尾市芸術文化振興プラン」を策定し、文化行政を進めてきましたが、国の方針を踏まえて、令和4年3月

に新たに「八尾市芸術文化基本条例」を制定し、「芸術文化による創造及び交流の基盤の形成」と、その有機的なネットワークを活かした豊かなまちづくりを目標に掲げました。

・計画の目標と交流の場づくり

「第2次八尾市芸術文化振興プラン」の後継計画であるこの「八尾市芸術文化推進基本計画」では令和10年度までの計画期間の目標として「芸術文化の魅力を活かした豊かなまちづくり」を掲げ、「芸術文化による創造及び交流の基盤」を「やおうえるかむコモンズ」と名付け、芸術文化に関わる人や団体、場所との交流の場づくりを進めていきます。

計画目標と7つの施策

計画目標

芸術文化の魅力を活かした豊かなまちづくり

7つの 施策

施策2 芸術文化につながる
機会の提供

施策5 芸術文化を通じた
子どもの育み

施策3 芸術文化を深く
味わう機会の提供

施策6 芸術文化を通じた
地域の活性化

施策4 自由な芸術文化活動
のための環境の整備

施策7 芸術文化による
まちの魅力の発信

施策1 芸術文化による創造及び交流の基盤の
形成に係る体制及び仕組みの整備

取り組みイメージ

コーディネーターの育成 施策1

「コモンズ」の多様な形成主体を結びつけ、ネットワークを構築するコーディネーターを育成します。

取り組みイメージ

商業施設や公共施設での 芸術文化イベントの開催 施策2

商業施設や公共施設で芸術文化イベントを開催します。

取り組みイメージ

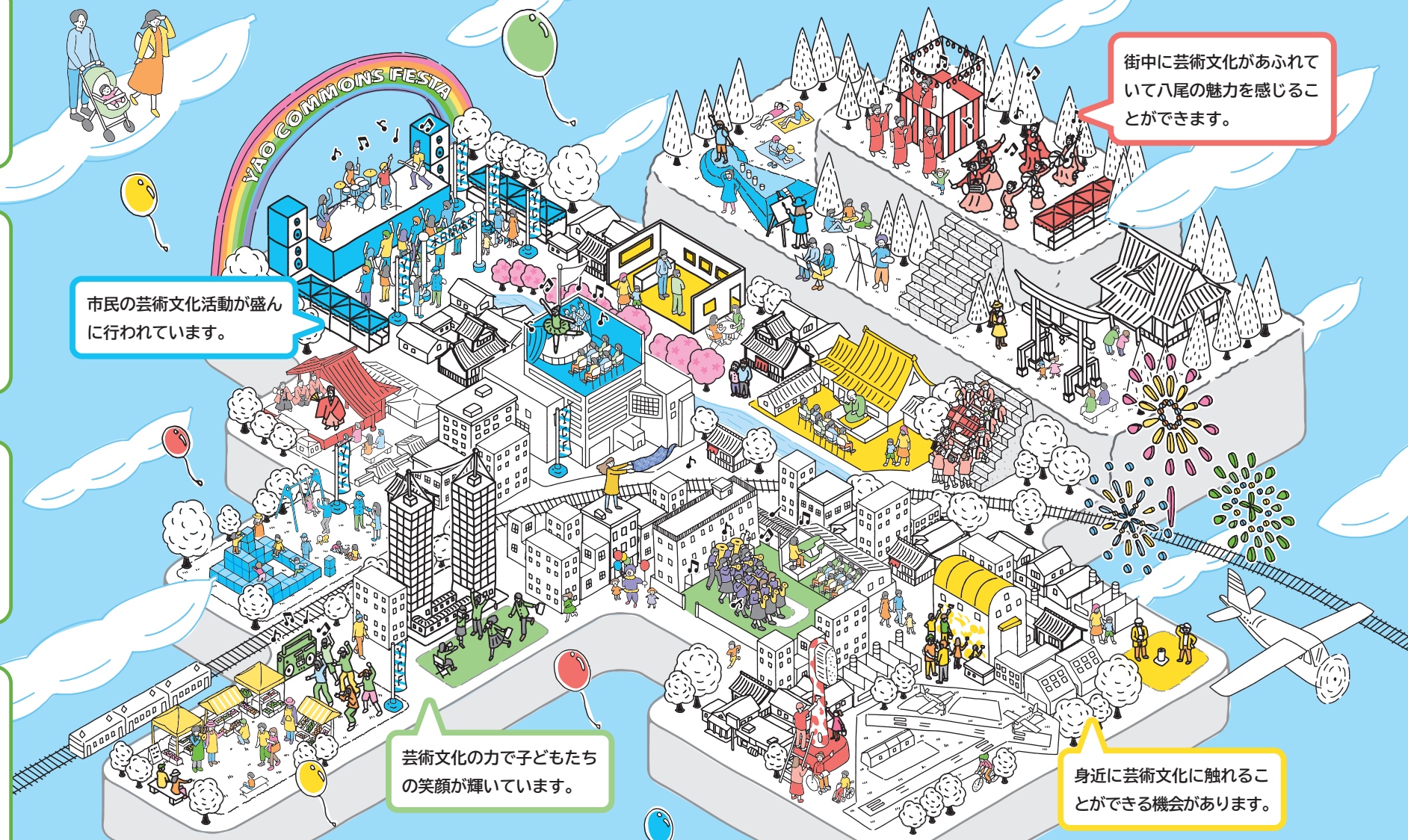
発表の場の提供 施策3

文化会館のあらゆるスペースで身近にアートの展示ができる場を創出し、発表機会を拡充します。

取り組みイメージ

芸術文化イベントを通じた アーティストとの交流 施策4

作者参加による絵画の展示販売会や、各種公演前後の出演者との交流会などを開催し、アーティストの想いを共有できる機会をつくれます。



八尾市芸術文化ビジョンマップ

このビジョンマップは、「八尾市芸術文化推進基本計画」の計画終了年度である令和10年の八尾市の様子をイメージして描かれています。このビジョンマップのような、誰もが芸術文化につながるまちの姿をめざして計画を推進していきます。

取り組みイメージ

芸術文化に関わる 仕事の職業体験 施策5

文化会館の舞台スタッフ体験など、芸術文化に関わる仕事の職業体験を通じて、子どもの将来の選択肢を広げます。

取り組みイメージ

高齢者施設等での 音楽鑑賞イベントの実施 施策6

様々な事情で鑑賞が困難な方々の身近な場所へ、芸術文化を鑑賞する機会を届けます。

取り組みイメージ

河内音頭の振興 施策7

音頭と踊りの実演イベントの実施や、小中学生向けの河内音頭講座の開講、吹奏楽とのコラボレーションなど、八尾の代表的な伝統芸能である河内音頭を市内外に発信するとともに、次世代への継承にも努めます。

ここで紹介している事業イメージは、計画に記載されている一部です。すべてをご覧になりたい場合は、裏面のQRコードから計画の本冊をご覧ください。